



# 風の道

かぜのみち

2021年 vol.28

東部医療センターは令和3年4月1日より、名古屋市立大学医学部附属東部医療センターとして新たな出発をいたしました。

この大学病院化で名古屋市立大学病院・西部医療センターとともに優れた医療人の育成や先端的研究の発信を基盤とし地域に根差した高度先進医療の提供に一層努めて参ります。改めまして名古屋市立大学医学部附属東部医療センターをよろしくお願いいたします。

## 低侵襲手術センターの紹介

### センター長から

東部医療センターでは、これまで腹腔鏡手術を中心として低侵襲手術を施行し、手術実績を重ねて参りました。今般、高度な手術技術を安全な形で地域に提供することが喫緊の課題となる中、2021年4月より名古屋市立大学医学部の附属病院として低侵襲手術センターを開設し、最新のロボットシステム（ダビンチXi）を導入いたしました。多様化したニーズに対応した医療の提供がまさしく地域の基幹病院をあずかる我々の使命と理解しております。



最新のロボット（ダビンチXi）とセンター長

### センターの概要

ロボット支援手術（ダビンチ手術）は、超高齢社会を迎える時代を背景として大学病院を中心に先進医療として施行されてきました。その後2012年に泌尿器科疾患に対する保険適応が始まり、現在では、その低侵襲性が評価されて産婦人科、呼吸器・消化器外科など多くの診療科疾患へと保険が適応されています。特に注目なのは、仙骨腫固定術や腎盂形成術などいわゆる‘QOLの改善’を目的とするロボット支援手術が2020年から保険適応となったことです。低侵襲性だけでなく、‘機能の温存そして改善’がより望まれる時代のなか、中心となるロボット支援手術では、診療科医師だけではなく、麻酔科医、看護師、臨床工学技士で構成されたチームで担当させていただきます。多職種が共同し、手術前後にわたり一貫性を持ったケアを行って参ります。



スタッフ一同

中央左：丸山哲史（センター長/泌尿器科） 中央右：小塚亜矢（手術室師長）  
左2：原田幸志朗（副センター長/消化器外科） 右2：池上要介（副センター長/泌尿器科、女性泌尿器科）

## 泌尿器科

ロボット支援前立腺悪性腫瘍手術では、精密な尿道膀胱吻合により尿道カテーテルは早期抜去が可能です。そのほか、膀胱全摘除術、腎部分切除術や腎盂形成術など多くの手術が保険適応となっています。また、女性の骨盤臓器脱に対するロボット支援手術も可能です。時には大きな筋腫や直腸脱の合併がありますが、婦人科および消化器外科と共同して手術を施行しており、高度かつ安全な医療を提供することができます。なお、10月から前立腺がんの手術を開始いたしました（池上要介/泌尿器科部長）。

## 産婦人科

当科では名古屋市内では他施設に先んじて腹腔鏡、子宮鏡などの低侵襲手術を手がけてきた歴史があります。とくに若い年代を中心とする良性疾患に対して多くの症例経験があります。

2021年より当院に手術用ロボットが導入されており、子宮筋腫などでロボット手術に適した症例は積極的に取り組んで行く予定です。その他産婦人科救急疾患として卵巣腫瘍茎捻転や破裂、卵巣出血、子宮外妊娠等があげられ時間外に緊急手術が行われますが手術室のスタッフ、麻酔科医の協力があり、緊急手術対応が可能です（関宏一郎/産婦人科部長）。

## 消化器外科

消化器外科の腹腔鏡手術は、胆のう摘出術から始まり、虫垂炎やそけいヘルニア、胃がんと大腸がんと適応が拡大され、更には食道、肝臓、脾臓など広範囲の臓器に対して行うことができるように進歩しました。またヘルニアや炎症疾患、腸閉塞、がんなど様々な病態に対し行われています。今までの内視鏡手術に加え、2021年秋からロボット手術が直腸がん、胃がんなどで導入されます。手振れ防止や関節機能などにより、ロボット手術は更なる低侵襲手術が可能です（原田幸志朗/消化器外科部長）。

## 呼吸器外科

肺癌をはじめとする肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸の治療を主に担当しています。胸腔鏡下手術は専用の器具やカメラを操作して小さな傷で行う方法で、従来の開胸手術に比して患者さんに与える侵襲を少なくできるメリットがあり早期の退院（術後4-7日）と社会復帰が可能となっています。より繊細な手技を完全胸腔鏡下に行うことが可能とされるロボット支援手術が2018年4月に呼吸器外科領域においても保険収載され徐々に広まってきています。当科でも肺がん、縦隔腫瘍などで施行できる準備をすすめております（水野幸太郎/呼吸器外科部長）。

## 手術支援ロボットによる鏡視下手術の実際

- ①  
まず小さく切開します  
次に腹腔内を確認します



- ②  
次にトロッカを挿入します  
モニターを使用することで  
個々の対応が可能です

- ③  
ロボットアームは4本順に  
トロッカに接続します  
執刀医（赤枠）は離れて座り  
手術に集中します



- ④  
執刀医は拡大鏡(10倍)の  
3D視野で術野を見ます  
ハンドコントロールで繊細  
な操作が可能です